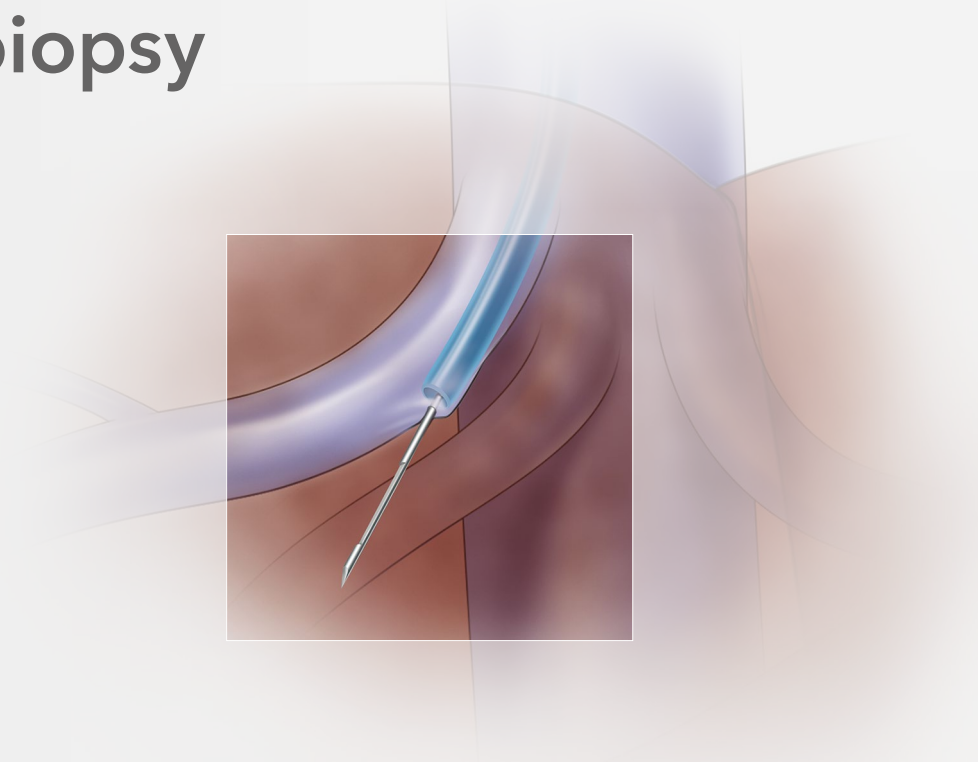


# Transjugular liver access and biopsy

図解付きガイド



Illustrations by Lisa Clark

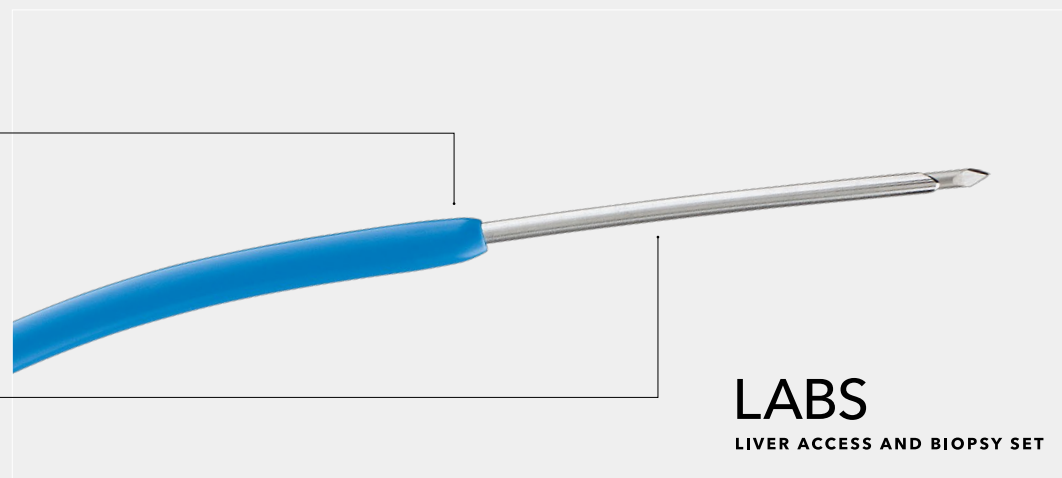
## LABS

LIVER ACCESS AND BIOPSY SET

# 経頸静脈的肝生検用にデザインされたアクセス・生検針セットが処置をサポートします。

本品は経頸静脈的肝生検のための機器です。

- 血液凝固異常や腹水が認められる症例に、経皮的肝生検に代わる経頸静脈的アプローチを実現
- カーブ型のカテーテルとカニューラにより、容易な肝静脈へのアクセスを実現
- 生検針を組織に挿入し、繰り返し組織を採取



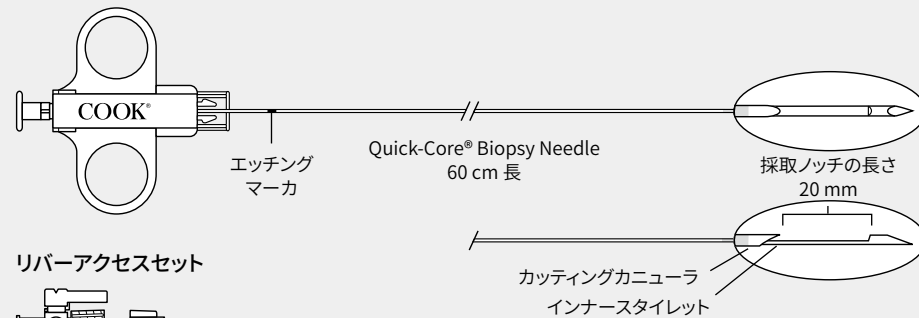
グローバル 製品番号	カタログ 番号	ニードル ゲージ	ニードル 長 cm	採取ノッチ 長さ mm	シース Fr
G50779	LABS-100-J	18	60	20	7

# Transjugular liver access and biopsy

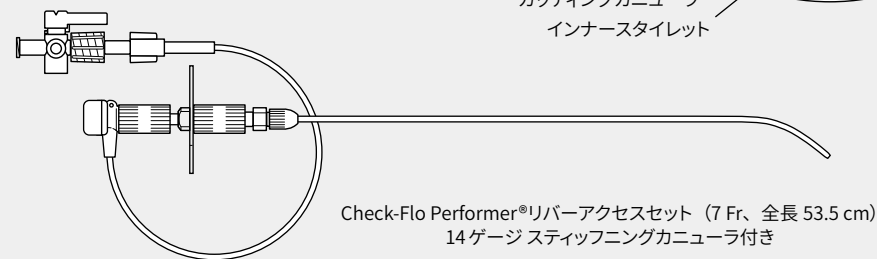
## 図解付きガイド

詳細な使用方法や注意事項は電子化された添付文書を参照してください。

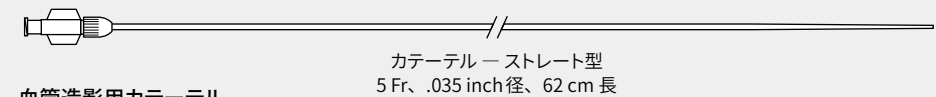
### クイックコア生検針



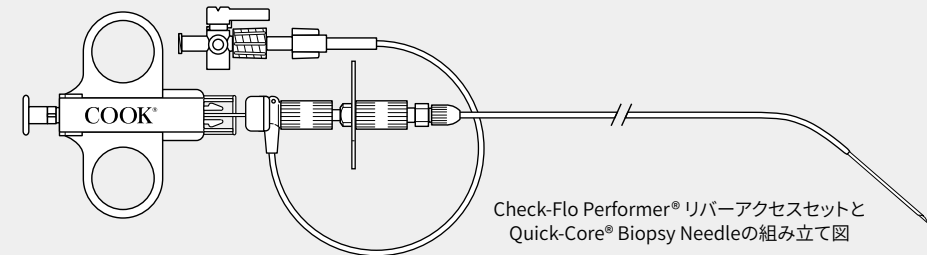
### リバーアクセスセット



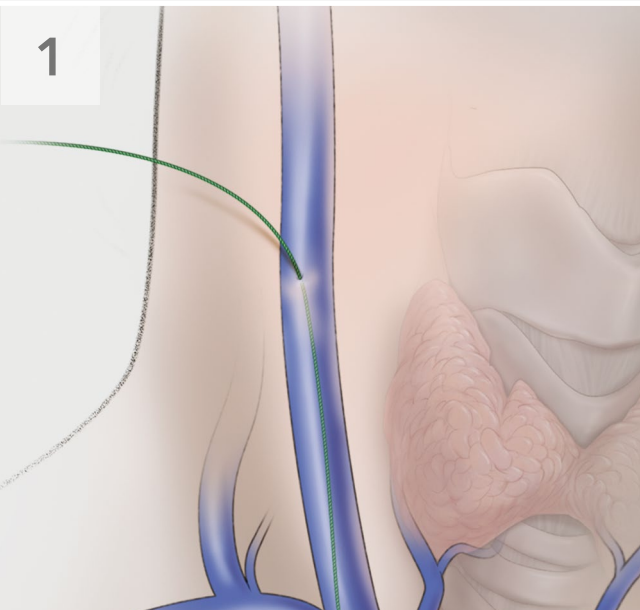
### ストレートカテーテル



### 血管造影用カテーテル



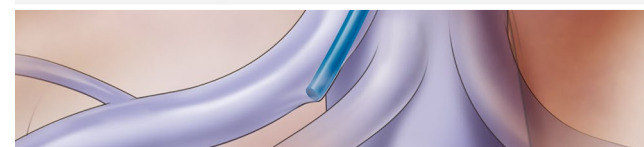
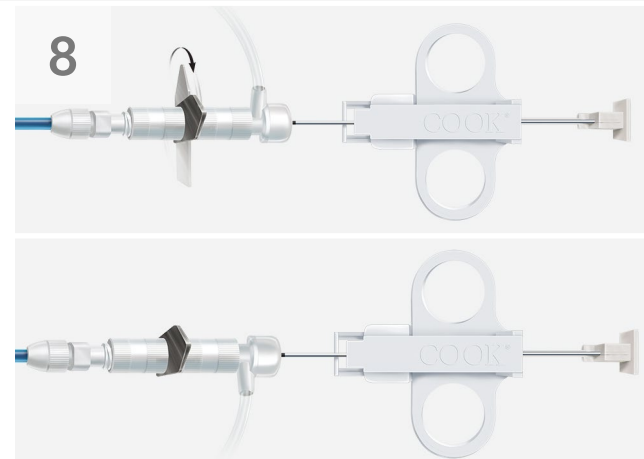
1



**警告：**引き戻す際にカテーテルが分離しないよう、操作や抜去の際には十分注意してください。人工血管グラフトからの挿入はできる限り避けてください。

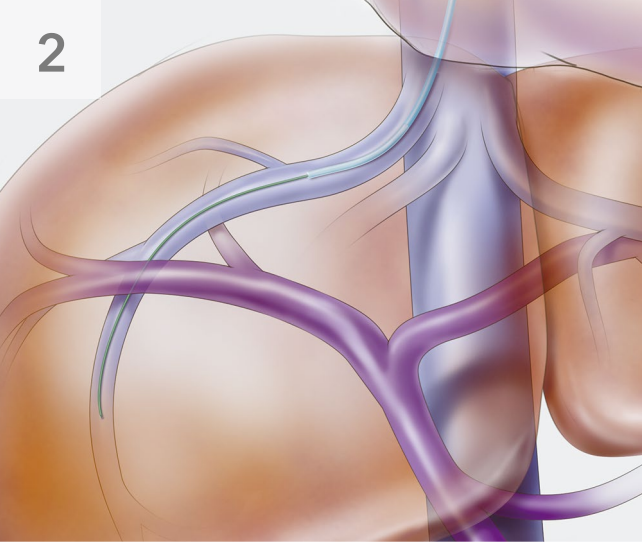
標準的なアクセス法を用いて、.035 inch 径ガイドワイヤを頸静脈から下大静脈に進めます。

8



金属製スティッフニングカニューラのハブのベースプレートに表示された矢印に従い、Check - Flo Performer® リバーアクセスセットと Quick - Core® Biopsy Needle を生検部位の方向に向けた後、前方に軽く押し、生検部位に隣接する肝静脈壁を押し上げます。

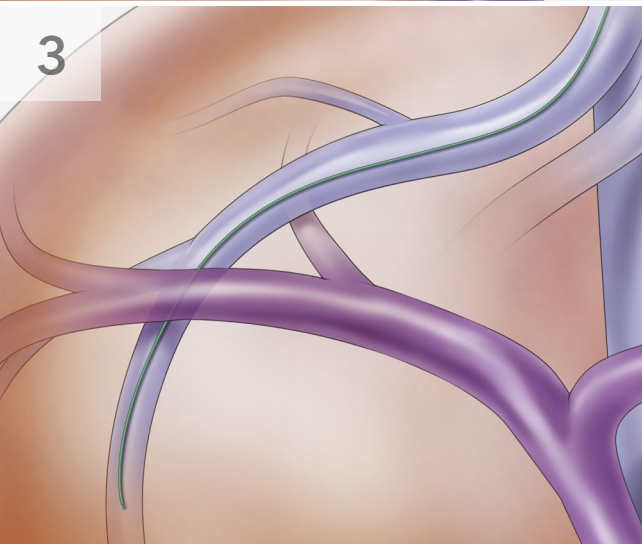
2



血管造影用カテーテルとガイドワイヤを使用し、右肝静脈 (RHV) または肝静脈枝に挿入します。(ガイドワイヤはセットに含まれておりません)

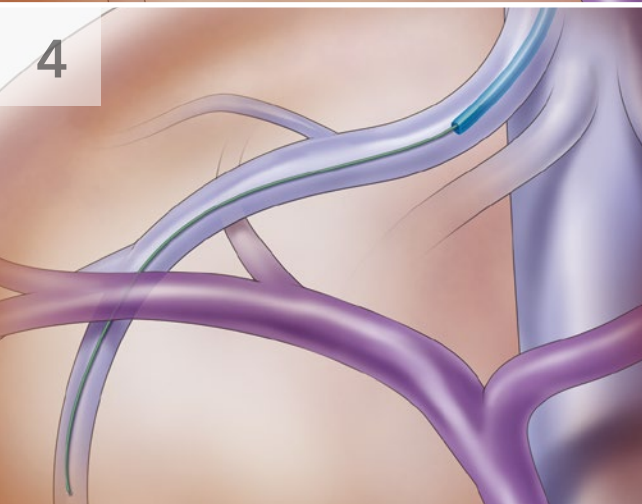
**注意:** 右心房を通過する際は不整脈の防止のため、継続して心臓をモニターすることが推奨されます。

3



安全な遠位部にガイドワイヤを残し、カテーテルを抜去します。

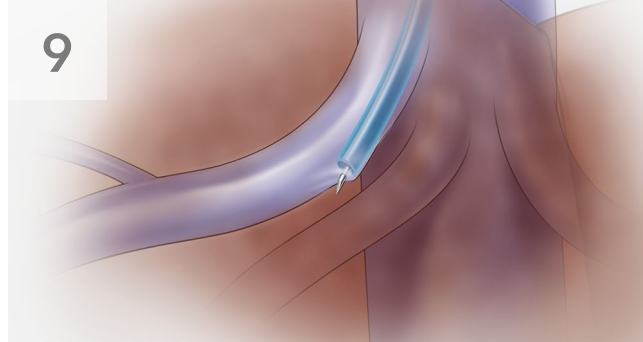
4



Check-Flo Performer® リバーアクセスセットをガイドワイヤに沿って挿入し、肝静脈に進めます。

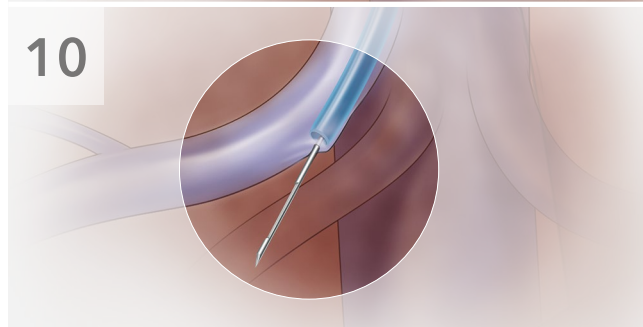
この際、付属のストレートカテーテルを使用すると挿入しやすくなります。

9

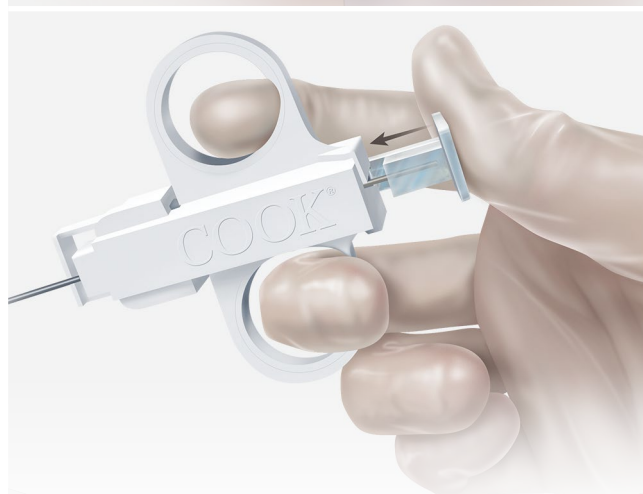


Check-Flo Performer® リバーアクセスセットの先端から出るまで Quick-Core® Biopsy Needle を進め、肝組織に挿入します。Quick-Core® Biopsy Needle が適切な位置に達するまで、プランジヤは押さないでください。

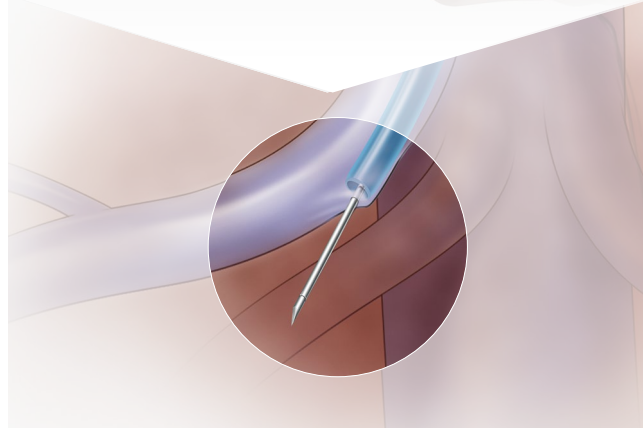
10



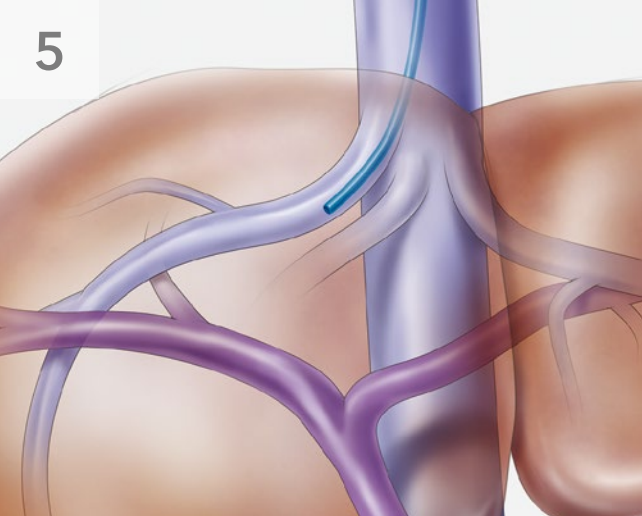
Quick-Core® Biopsy Needle を動かさないようにしながらプランジヤを押して、生検部位の内部で採取ノッチを露出させます。



さらに、プランジヤを完全に押し込み、カuttingカニューラにて組織を収容します。



5



Check-Flo Performer® リバーアクセスセットが肝静脈内に到達したら、ストレートカテーテルとガイドワイヤを抜去します。

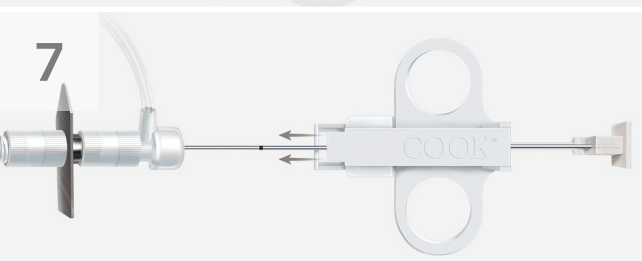
**注：**ストレートカテーテルを抜去する際、金属製スティッピングカニューラでストレートカテーテルを損傷させないように注意してください。抜去の際、ストレートカテーテルにガイドワイヤを通したままにしておくと、ストレートカテーテルが損傷しにくくなります。

6

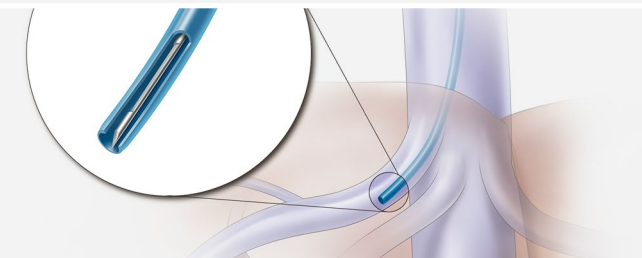
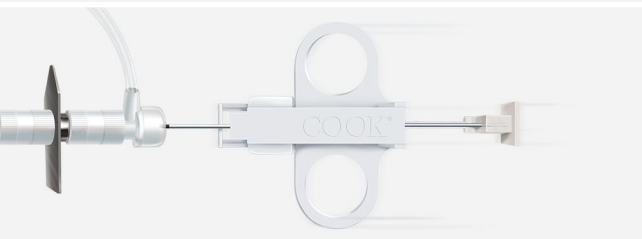


カチッと手応えを感じるまで、Quick-Core® Biopsy Needle のプランジャを手前に引くと、生検針のスプリングがロックされ待機状態となります。この時点では、採取ノッチはカッティングカニューラに完全に覆われています。

7



スタイレットを完全に収納した状態で、Quick-Core® Biopsy Needle を Check-Flo Performer® リバーアクセスセットに挿入し、カニューラ近位部のエッチングマーカが Check-Flo パルプアダプタのハブに達するまで差し込みます。これにより、生検針の先端がアクセスセットの遠位端に到達します。

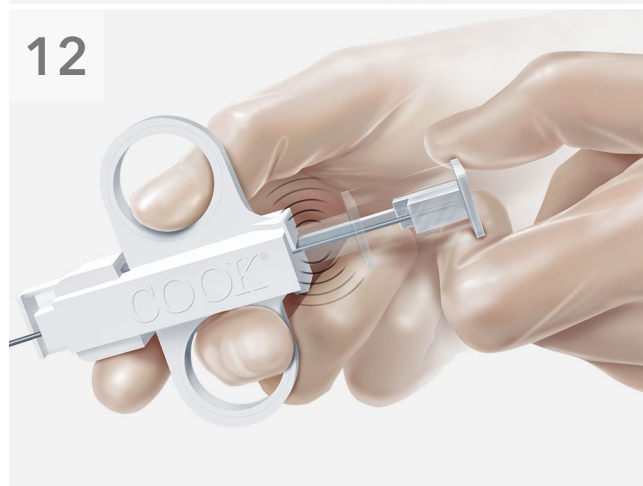


11

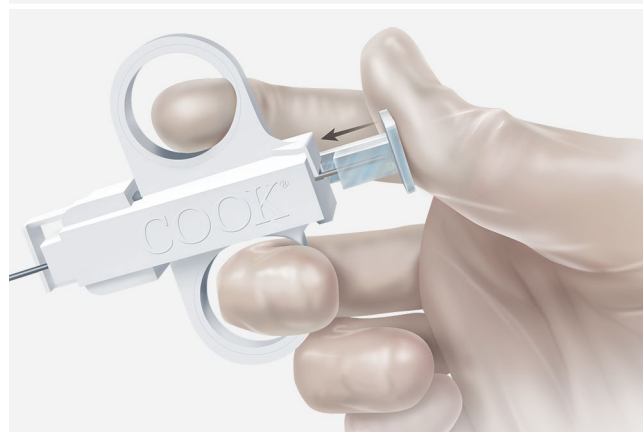


Quick-Core® Biopsy Needle を生検部位から抜去し、Check-Flo Performer® リバーアクセスセットから完全に抜き取ります。

12



組織を回収するため、カチッと手応えを感じるまでプランジャを手前に引きます。これでカッティングカニューラが固定されます。



プランジャを押して、組織を露出させます。

**注：**カッティングカニューラが再び作動しないように、抵抗を感じたら、スタイレットを押すのをやめてください。



採取ノッチから組織を回収します。



製造販売元  
クックメディカルジャパン合同会社  
〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1  
中野セントラルパークイースト  
TEL: 03-6853-9470  
[cookmedical.co.jp](http://cookmedical.co.jp)

**Asia Pacific Customer Service**

Australia: +61 734346000, [cau.custserv@cookmedical.com](mailto:cau.custserv@cookmedical.com)  
China: +86 2154519599, [chinacssupport@cookmedical.com](mailto:chinacssupport@cookmedical.com)  
Hong Kong: +852 34721688, [cs.cahk@cookmedical.com](mailto:cs.cahk@cookmedical.com)  
India: +91 4461993000, [india.orders@cookmedical.com](mailto:india.orders@cookmedical.com)  
Japan: +81 368539470, [info-japan@cookmedical.com](mailto:info-japan@cookmedical.com)  
Korea: +822 62923500, [kr.orders@cookmedical.com](mailto:kr.orders@cookmedical.com)  
Malaysia: +603 76693889, [cs.malaysia@cookmedical.com](mailto:cs.malaysia@cookmedical.com)  
Singapore: +65 63207678, [cooksea.cs@cookmedical.com](mailto:cooksea.cs@cookmedical.com)  
Taiwan: +866 266283500, [cooktwn@cookmedical.com](mailto:cooktwn@cookmedical.com)  
Thailand: +66 21688630, [th.orders@cookmedical.com](mailto:th.orders@cookmedical.com)  
SADC: +65 63207600, [sadc\\_cs@cookmedical.com](mailto:sadc_cs@cookmedical.com)  
[cookmedical.com](http://cookmedical.com)

